

朝妻街道

—樋口から朝妻まで—

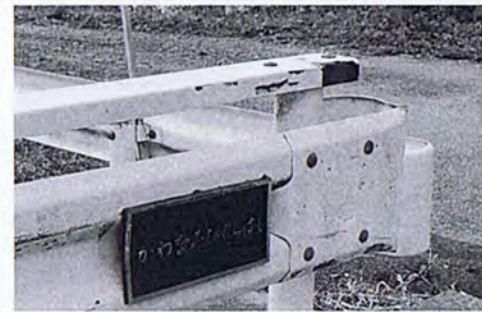
朝妻湊と中山道(東山道)をつなぐ道



▲朝妻港趾の碑



▲天野川越しに見る樋口集落



▲天野川にかかる河南樋口橋

古来、京から東海、北陸方面へ往来する方法のひとつとして、大津坂本からびわ湖を舟で渡って朝妻湊に上陸し、中山道や北陸道を利用するルートがとられていた。湊と中山道とを結ぶ朝妻街道は、時代によって経路が変化しているが、今回は中山道の樋口から天野川を渡り、能登瀬、新庄、箕浦、飯村から朝妻に至るルートを米原市文化財保護課の小野航さんと一緒に辿った。

中山道からの分岐

朝妻は往時、湖東第一の港だったことが知られている。中世水運史の研究者でもある天皇陛下が皇太子時代に伊吹登山をされた際にも、「あの辺りが朝妻湊ですか？」とお尋ねになったほどだ。

江戸時代に入り、慶長18年(1613)頃に今の米原駅辺りに米原湊が開かれると、中山道からびわ湖へのメインルートを番場(深坂道)米原に譲ることになるのだが、それまでの長きにわたり、中山道(古くは東山道)とびわ湖(朝妻湊)をつないでいたのが朝妻街道である。

今回は中山道からびわ湖に向かって出発する。醒井宿を西に進むと最初の集落が河南(かみかわ)隣接する樋口との境界近くまで行くと、東海道本線の踏切から天野川を渡る橋に続く道が見える②。かつての橋への道は樋口集落の西の端に近いところ①にあったが、すでに付け替えられているため、現在はここで右折し、中山道に別れを告げる。

防音壁が設置されている踏切を越え、橋を渡ってすぐに左折。天野川の堤防沿いの道を西へ。古い橋の形跡を北岸から探すがよく分からない③。

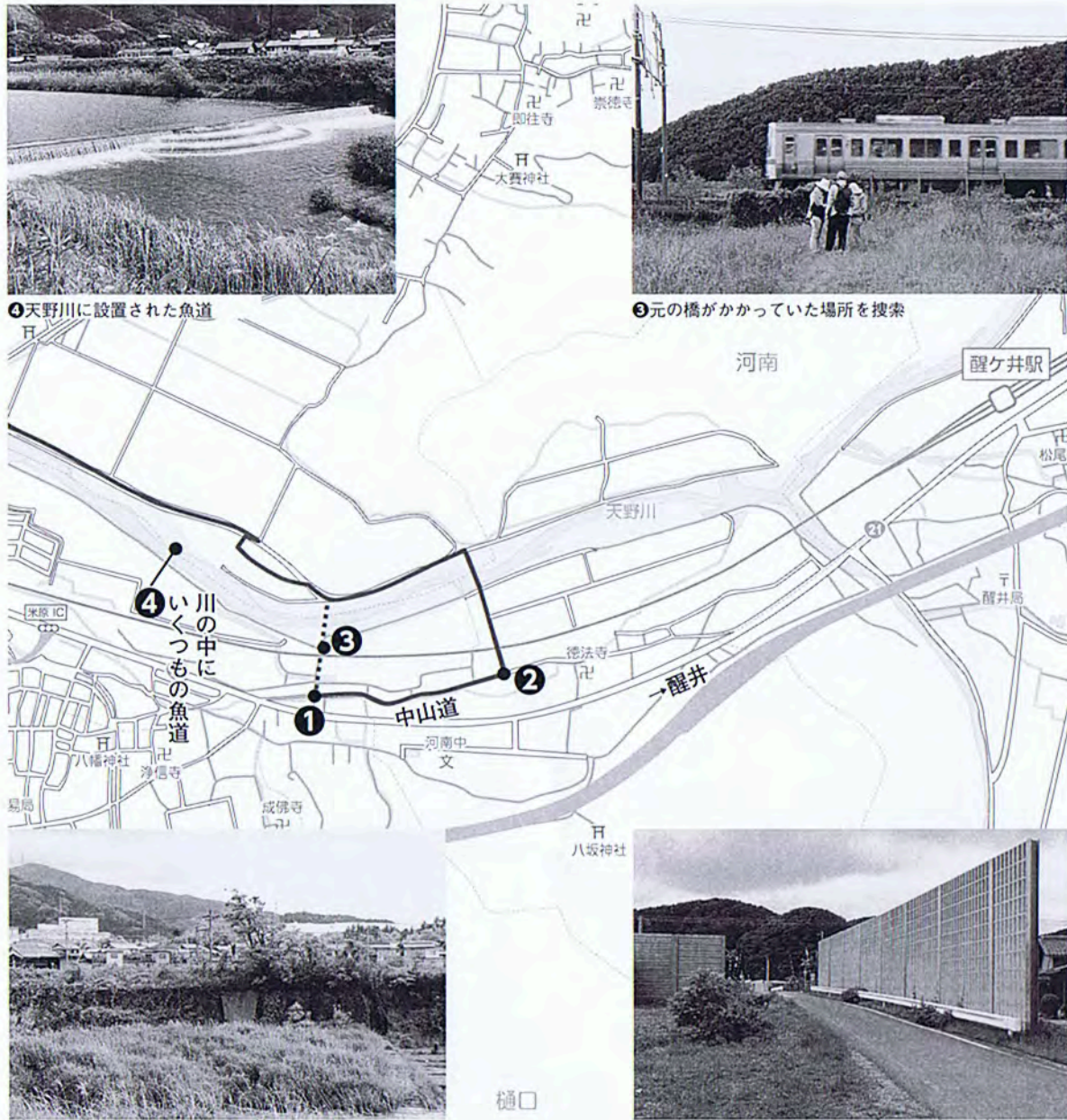
天野川のこの辺りから下流にはいくつかの堰があり、近年まで魚の遡上の妨げになっていたが、10年ほど前から市民と行政の協力のもとで始まった「ピワマスプロジェクト」により、今では魚道(柵田式と呼ばれる)④が設けられている。

右手に広がる田んぼを見ながらしばらく進むと能登瀬の集落。天野川の堤防に別れを告げ、小さな橋を渡って集落内に入る。

古代の豪族・息長氏ゆかりの地

能登瀬集落に入って間もなく左折。山津照神社を祀る山の本もとに「ここは能登瀬です」と書かれた掲示板と「能登瀬城」のプレート⑤がある。能登瀬城は京極氏の被官、堀氏の居城とされる。

その先の二又の角に息長郵便局があり、赤丸ポストの横に明治17年(188



④天野川に設置された魚道

③元の橋がかかっていた場所を搜索

④川の中にいくつもの魚道

⑤対岸から橋の名残を探すか…?

②ここから出発。踏切と橋を渡る

祈りの道しるべ

竹生島への道しるべ

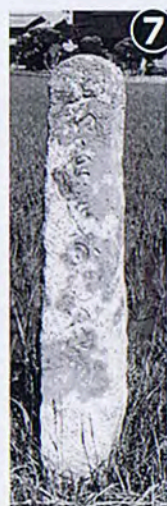
かつて、人びとが祈りを込めて通った道に
今も、行き先を案内する道しるべが立っている。
ここに彫られた文字をたよりに
先を急いだ人も多かったことだろう。
黙して建つ石柱に、
彼らの足音を覚えているかと問うてみた。

竹生島道。びわ湖に浮かぶ竹生島には弁才天が
祀られる。島へ渡る船は早崎、尾上の港から出港
するため、それぞれの港へ向けてのルートができ
ていた。

元三大師良源は各地に祀られているが、湖北で
は出生地である玉泉寺へ向かう道中を案内している。

そして、谷汲山華嚴寺への道。岐阜県揖斐郡揖
斐川町にある天台宗の寺で、西国三十三所観音靈
場の結願、満願の三十三番札所「谷汲さん」とし
て知られる。古来、湖北を経由して詣でる人が多
かったことを、「谷汲道」という呼称や道標が物
語っている。

■参考資料
「湖北の道しるべ」（江竜喜之「北国街道と脇往還」）
「ふるさと長浜」（長浜市教育委員会 長浜北高校）
「滋賀県立長浜文化芸術会館年報 昭和62年度展示事業」
「元三大師への道標」（太田浩司 みくろな114号）



番号	文字	建立年月	高さ×横幅×奥行き (cm)	建立位置	備考
1	左 いせ たにぐみ きのもと すぐ竹生島 大津 諸浦出航 天保十二年辛丑 林鐘吉日	天保 12 (1841) 6月	115.0×22.0×22.0	長浜市西浅井町 塩津浜	元は、塩津海道と北国街道の接点(現在地)にあったが、道路拡張で抜き取られ道端にころがっていたのを古老たちが塩津神社御旅所境内に移設したという。その後、現在地に戻された
2	右 竹生島道 是より尾上村迄 四十五丁船あり		150.0×21.0×21.0	長浜市湖北町 速水	コンビニ角
3	東西南北 元禄十二巳卯 勢州重行立之 是より西 竹生嶋みち 尾上村に船あり		165.0×17.0×16.0	長浜市湖北町 速水	伊豆神社社務所前
4	左 竹生嶋本道 早崎港迄 貳拾五丁 各日出航 明治十四年五月発願 本村営業社中	明治 14 (1881)	212.0×31.0×31.0	長浜市湖北町 馬渡	馬渡橋もと(北詰)
5	右 竹生嶋道 江戸鳥居講中		171.0×22.5×21.5	長浜市小観音寺町	4の道標から西へ約350mの分岐点(旧びわ町)
6	東西南北 是より西 竹生嶋みち 早崎村に船あり 元禄十二巳卯 勢州重行立之	元禄 12 (1841)	70.5×16.0×16.0	長浜市香花寺町	日吉神社境内 4面に四方を示すのは古式の道標(旧びわ町)
7	右 長浜 なんば道		102.0×20.0×18.5	長浜市香花寺町	曾根からと馬渡からの竹生島道の合流点(旧びわ町)
8	左 竹生嶋道 右 山本		70.0×20.0×20.0	長浜市富田町	八幡神社角(旧びわ町)
9	左 竹生嶋道 文久二年壬戌孟春	文久 2 (1881)	317.0×30.0×30.0	長浜市曾根町	湖北最大級で彫りも深い(旧びわ町)